

## 背景

- 従前は、税務署、財務事務所、選管でそれぞれ出前授業を実施していた。
- 税財政と選挙のつながりが深く、選管のみの開催を希望する学校が少なかった。

## 事業の概要 〈開始年度：H29～ R4実績：2校で実施（601名参加）〉

## ○税務署と連携した「税金と選挙」出前講座を実施

「自ら税金の使いみちや税負担のあり方などを考え、その考えを選挙で意思表示すること」を模擬投票で生徒に経験してもらい、積極的に政治に関わっていく重要性を学習することを目的とするもの。

- ・税務署職員が税に関する講義を行った後、架空の国の大統領選挙（模擬投票）を実施。
- ・3人の候補者が税金の使い方を争点とした政策を発表。（候補者は、生徒や先生、職員）
- ・生徒は各候補者の主張について情報収集やグループワークを行い、自分の意見を整理し、投票する候補者を決定。
- ・選管職員が投票の方法について説明した後、投票を実施。
- ・投票終了後、選管職員と生徒で開票作業・結果発表を実施。
- ・選管職員から選挙について講義。

[▼政策説明の様子]



[▼グループワークの様子]



[▼模擬投票の様子]



## 工夫・注意点

- 投票の前にグループワークを行い、税の講義の理解を深める。
- 最終的に投票する候補者は、周囲に流されずに、各生徒自分で考えて決める。
- 授業の後半に選管の説明や模擬投票を行うため、生徒の集中力が低下する。そのため、クイズや問いかけを多めにし、生徒の興味を引くようにしている。

## [クイズ例]

## 選挙クイズ

「選挙たろう」候補がいます。「選挙たろう がんばれ！」と書かれた票は有効な投票になるでしょうか？

- 1 有効
- 2 無効

「選挙たろう  
がんばれ！」

令和5年10月10日執行  
〇〇選挙

## 今後の展開

- 税務署以外にも出前講座を行っている団体とも連携し、単体では開催希望が無かった学校等で主催者教育が行えるようにしていきたい。